

# 土地改良広報



## 1月号表紙写真

第8回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト  
入選

作品名：『作柄占い』

撮影地：宮城県涌谷町

## Contents

- 令和3年度 第2回、第3回理事会を開催しました
- 令和3年度 定期監査及び第3回、第4回、第5回監事会を開催しました
- 令和3年度 「農業農村整備の集い」が開催されました
- 令和3年度 宮城県土地改良大会を開催しました

## 土地改良区めぐり

シリーズ 37 ～ 富谷北部土地改良区

# 1 月 号 目 次

— N O . 6 2 7 —

## トピックス

- P 3 新春挨拶
- P 10 新年のご挨拶を申し上げます
- P 11 令和3年度 第2回、第3回理事会を開催しました
- P 12 令和3年度 定期監査及び第3回、第4回、第5回監事会を開催しました
- P 13 令和3年度 「農業農村整備の集い」が開催されました
- P 14 農業農村整備事業関係予算並びに吉田川流域における流域治水対策に関する要請活動が実施されました
- P 15 令和3年度 宮城県土地改良大会を開催しました
- P 18 第43回全国土地改良大会群馬大会が開催されました
- P 19 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」が東北・北海道地区緑化推進協議会より表彰されました
- P 19 令和3年度 土地改良区職員研修会を開催しました
- P 20 令和3年度 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育活動を実施しました
- P 21 令和3年度 インターンシップ事業を実施しました

## 土地改良区めぐり

- P 22 シリーズ37 富谷北部土地改良区

## おしらせ

- P 23 令和3年秋の叙勲、令和3年文化の日表彰
- P 24 宮城県ため池サポートセンターについて
- P 26 本会会員代表者の就退任関係
- P 26 連合会日誌（8月～12月）
- P 27 今後の行事予定（1月～3月）





## 新年のご挨拶

宮城県土地改良事業団体連合会  
(水土里ネットみやぎ)

会長 伊藤 康志

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、水土里ネットみやぎの業務運営に御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

水土里ネットみやぎでは、令和元年10月に東北地方に甚大な被害をもたらした「令和元年東日本台風」で被害を受けた農地や農業用施設を被災直後から事業主体の要請を受け、関係機関と連携を図りながら復旧・復興の支援を職員一丸となって全力で取り組んでいるところであります。

現在、農村地域では、農業従事者の高齢化・減少等により、農地・農業水利施設の管理が困難になるなど、様々な影響をもたらすことが危惧されており、農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、農地の集積・集約、大区画化、汎用化等の農地整備や将来を見越した適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となっております。

加えて、ため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、東日本大震災や令和元年東日本台風などに代表されるように、大規模地震や豪雨災害の頻発化・激甚化が懸念されており、国民の生命と財産を守るためにも、ため池等の耐震化や農地・農業水利施設を活用した「流域治水」に取り組むなど、農村地域の防災・減災対策の推進を通じた国土の強靱化が重要な課題となっております。

このような中、令和3年3月に閣議決定された、新たな「土地改良長期計画」においては、農業者の減少及び農村集落機能の低下が進む中、国民への食料の安定供給、農業が有する多面的機能の発揮を将来にわたって確保していくため、人口減少下で持続的に発展する農業、多様な人が住み続けられる農村を目指し、「生産基盤の強化による農業の成長産業化」、「多様な人が住み続けられる農村の振興」、「農業・農村の強靱化」の3つの政策課題を掲げております。これらを実現するためには、農地の大区画化、スマート農業の推進、水田の汎用化等により、農業競争力と産地収益力を強化することが必要となっております。また、令和3年5月には「みどりの食料システム戦略」が策定され、生産資材などの調達から生産、加工・流通、消費まで食料供給全体を通じて環境負荷の軽減などを推進する政策方針となっております。

令和4年度農業農村整備事業関係予算については、農業関係者等からの強い要請と熱意を受け止めていただき、令和3年度補正予算と令和4年度当初予算を合わせて6,300億円の概算決定となりました。今後も現場のニーズに適切に応えられるよう、安定的・計画的な事業推進に向けて、引き続き、強力に現場からの声を届けていく所存であります。

我々、水土里ネットみやぎは、様々な課題の解決と、人間の存続に欠かすことのできない「水・土・里」を未来に継承していく使命のもと、力強い農業農村の実現に向けて積極的に取り組んでまいりますので、関係する皆様方のなご一層の御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願いつつ、この一年が皆様にとりまして平穏な佳き年となりますよう、御健勝と御発展を御祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



## 県制150周年を迎え 郷土への愛着をはぐくみ 活力あふれる明るいみやぎへ

宮城県知事 村 井 嘉 浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨秋に行われた知事選挙において、私は県民の皆様の御支持をいただき、引き続き県政運営を担わせていただくことになりました。5期目の責任の重さを痛感しているところでありますが、県民の皆様の負託に応えるため、県政の様々な課題に全力を尽くして取り組んでまいります。

一昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症については、感染拡大防止に向けた外出自粛や休業要請等に伴う消費の低迷、観光客の減少などにより、農業分野では、主食米用の概算金が前年度から大幅に下落し、生産者の方々は経営に大きな影響を受けました。県では引き続き、経営の安定化に向けて農地の大区画化や担い手への農地利用集積、麦や大豆、高収益作物への作付転換への支援に努めてまいります。

今年は、新たな県政運営の指針である「新・宮城の将来ビジョン」の2年目に入ります。昨年3月には、食と農を取り巻く情勢の変化やSDGsの視点も踏まえ、令和12年度を目標年度とする「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」を策定したところであり、人口減少化でも持続的に発展する農業の振興、多様な主体が活躍できる農村の構築、近年、頻発化、激甚化する豪雨や地震等の自然災害に対応した農村地域の防災・減災対策の強化に必要な施策を着実に推進してまいります。また、国において策定された「みどりの食料システム戦略」に基づき、生産、流通、消費など各段階において関係機関の皆様と連携しながら持続可能なシステムの構築やカーボンニュートラル等の環境負荷軽減へのイノベーションに取り組んでまいります。

農業・農村整備を取り巻く情勢は年々厳しくなっておりますが、土地改良区の皆様におかれましては、改正土地改良法の趣旨を御理解いただき、今年4月からの複式簿記会計の導入による効率的な組織運営と経営基盤の強化を図るとともに、多面的な機能を有する農地・農業用施設の適切な維持管理を行うことにより、将来にわたって本県農業・農村の発展に大きく寄与されますことを御期待申し上げます。

令和4年は県制150周年の節目の年でもあります。宮城県は誕生から150年という歴史の中で、数々の災害や困難を乗り越えながら歩みを進めてまいりました。私たちにはこれをさらに発展させ、引き継いでいく使命があるものと考えています。県民の皆様一人一人が、地域の歴史や魅力を探求しながら郷土への愛着を深め、明るい未来を展望することができるよう、多様な主体による魅力ある地域づくりを進めるとともに、安全で恵み豊かな県土の中で、幸福を実感し、いつまでも安心して暮らせる宮城を目指して取り組んでまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。



## 県制150周年を迎え 更なる発展へ

宮城県議会議長 菊 地 恵 一

新年明けましておめでとうございます。

また、日頃より、宮城県議会の活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年11月、第381回宮城県議会において、第45代宮城県議会議長に就任いたしました。県民の皆様の信頼と負託に応えるため、全身全霊で取り組んで参る所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

東日本大震災から昨年で10年が経過しました。県内では三陸沿岸道路の気仙沼港インターチェンジ・唐桑半島インターチェンジ間が開通し、三陸沿岸道路の県内全線が開通となりました。また、石巻南浜津波復興祈念公園が開園するとともに「みやぎ東日本大震災津波伝承館」が開館され、生活に密着したインフラの整備や災害に強いまちづくり、震災遺構・伝承施設など、ハード面においては、多くの地域で取組が完了しつつあります。一方で、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、外出自粛や休業要請等に伴う消費の低迷、観光客の減少、大型イベントの相次ぐ中止決定など、復興途上にある被災地の産業やなりわいは、一昨年に引き続き、大きな影響を受けました。

食と農を取り巻く情勢に目を向けますと、人口減少と高齢化による食の市場規模の縮小や食の嗜好の変化などに伴う主食用米の需要減少、農業現場での担い手不足、農村地域コミュニティの衰退などの問題が懸念されているほか、頻発化・激甚化する自然災害や家畜伝染病などのリスクが発生しています。

このような中、県では「創造的な復興」の理念を引き継ぐ新たな県政運営の指針である「新・宮城の将来ビジョン」及び、その分野別計画であり、農業・農村の振興に関する基本計画である「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」を策定しました。

本年は、「新・宮城の将来ビジョン」及び「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」の2年目であり、県制150周年の節目の年でもあります。

これまで、本県は150年の歴史の中で、数々の災害や困難を乗り越えながら歩みを進めてまいりましたが、今後も持続可能な社会を形成していくためには、豊かなみやぎの食と農が必要不可欠であり、アグリテックなど、先進技術等を活用した農業生産の効率化や基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化、農業・農村の強靱化による地域防災力の強化などの取組が、ますます重要になるものと考えています。

県議会では、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と社会・経済活動の再開、震災からの復興と更なる発展、そして、農林水産業の持続的発展と食産業の振興に向けて、一丸となって取り組んでまいります。

結びに、本年が会員の皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますことを御祈念申し上げ、年頭の御挨拶いたします。





## 将来を見据えた 農業・農村の構築に向けて

東北農政局長 坂 本 修

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

平素より、農業生産基盤の強化に向けた農業農村整備事業の推進につきまして、多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は、東日本大震災から11年目となりますが、地震・津波被災地では、ほ場の大区画化や担い手への農地集積が進められ、大規模で労働生産性の高い農業経営が誕生し、次世代農業の創生に向けた取組が力強く進められています。

一方、福島県の原子力被災12市町村では、営農再開面積が4割程度にとどまるなど、原発事故により避難を強いられた地域での農業の復興・創生の取組は道半ばです。引き続き、関係機関と連携し、地域の合意形成の状況に応じて段階的にほ場の大区画化を推進するなど、農業者が早期に営農を再開できるよう後押ししてまいります。

さて、昨年3月、新たな「土地改良長期計画」が閣議決定されました。本計画では、「生産基盤強化による農業の成長産業化」、「農業・農村の強靱化」、「多様な人が住み続けられる農村の振興」の3つの政策課題を掲げ、持続的な農業の発展と多様な人が住み続けられる農村の実現を図る施策を講じることとしております。

このような農業・農村の成長産業化と強靱化を図るため、令和3年度補正予算に計上された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」と令和4年度予算を活用し、ほ場の大区画化や水田の汎用化、スマート農業の実装、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、防災重点農業用ため池の防災工事を集中的に実施するとともに、国土交通省等と協働し、流域治水の一環として「田んぼダム」の取組等を推進してまいります。

さらに、農村の振興のため、リモートワークや農泊などによる関係人口の創出・拡大、農道や農村集落排水施設といった生活インフラの確保、「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた情報通信環境の整備を促進してまいります。

2022年、農林水産省では2つの大きな改革を力強く進めてまいります。

昨年5月、「みどりの食料システム戦略」を策定し、2050年までに農林水産業のCO<sub>2</sub>ゼロエミッション化を行うため、化学肥料の使用量の低減や有機農業の取組面積の拡大等を目指すこととしております。農業農村整備事業においては、有機農業の拡大に寄与する水田の水管理の自動化や、脱炭素社会への取組として小水力発電などの再生可能エネルギーの利用を促進することとしております。

次に、2030年輸出5兆円目標に向け、輸出産地の育成を図ることとしており、東北農政局管内でも175の輸出産地を公表しました。農業農村整備事業においては、高品質な農作物の生産を拡大し、輸出産地を形成するため、排水改良等による水田の畑地化・汎用化等の基盤整備を推進してまいります。

東北農政局といたしましては、本年におきましても現場主義を徹底し、地域の皆様の声を良くお聞きしながら、農業生産基盤の整備、農業水利施設の更新・長寿命化と農村地域の防災・減災対策を効果的に推進し、将来を見据えた農業・農村の構築に努めてまいります。

本年が皆様にとって良き一年となることをお祈りするとともに、引き続き、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会  
(全国<sup>みどり</sup>水土里ネット)

会長 二階 俊 博

令和4年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が世界各国で拡大する中で、新しい年を迎えることとなりました。我が国では、ワクチン接種が進み感染者数は減少しているものの、世界的には変異株の感染が拡大し予断を許さない状況が続いております。

皆様には、感染防止のためにできることを今一度ご確認いただき、コロナ禍を共に乗り越えて頂きたいと願っております。

さて、昨年3月に新たな土地改良長期計画が策定され、三つの政策課題に取り組むこととされました。生産基盤の強化による農業の成長産業化、多様な人が住み続けられる農村の振興、農業・農村の強靱化といった政策課題に対して具体的な施策が定められ、中でもスマート農業実装の加速化、ため池の防災対策の集中的かつ計画的な推進、流域治水の推進は、今後の農業農村整備を進める上で大事な要素となってくるものです。

令和4年度予算につきましては、これらの政策課題の解決に向け、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,468億円を確保することができました。この結果、令和3年度の補正予算を含めると6,300億円となります。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

一方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても土地改良区等の女性理事登用が成果目標とされたところであり、我々、土地改良団体においても将来の組織体制強化のためにも、女性参画を進めていかなければなりません。

私たち土地改良に携わる者としては、政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におき農業農村の振興に積極的に貢献していくことが重要であると考えております。また、農業農村の維持、発展に大きく貢献していることについて広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力も必要であります。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう引き続き奮闘して参りたいと思います。

また、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員と宮崎雅夫参議院議員が元気に全国を飛び回り、まさに「車の両輪」となって活躍されています。本年は進藤さんの2回目の闘いとなりますが、今後は、進藤さん、宮崎さんの活動と連携して、更に一層「闘う土地改良」の浸透が図られるよう念じております。

最後になりますが、輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

全国水土里ネット 会長会議顧問

参議院議員 進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、宮城県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただいてから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円（TPP等対策：774億円、米対策：46億円、国土強靱化5か年加速化対策：1,012億円）です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円（令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、①農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加（現在は区画整理と農地造成のみ）、②「農地耕作条件改善事業」の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等とともに除草機器を追加、③省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、④「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」（防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備）を新設（国費率を従来の30%から50%に嵩上げ）、⑤「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線で政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。宮城県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。





## 年頭のご挨拶

農林水産大臣政務官

参議院議員 宮崎 雅夫

宮城県土地改良事業団体連合会会員各位ならびに関係の皆様にご挨拶を申し上げます。旧年中は多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年10月に発足した岸田内閣ならびに11月発足の第二次岸田内閣において、農林水産大臣政務官を拝命いたしました。これも偏に宮城県の皆様ならびに、進藤金日子参議院議員はじめ先輩国会議員のご指導とご支援によるものであり、本年も新たな気持ちで現場主義に徹しつつ皆様のご意見をお伺いしながら一層努力して参る所存ですので、引き続きご指導くださいますようお願いいたします。

さて、ここ2年に亘って農林水産業はじめ各方面に影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、国民の皆様のご協力により、昨秋以降の新規感染者数は低位に推移していますが、新たな変異株による感染拡大も懸念される昨今の状況からは決して油断することはできません。

経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料の多くを輸入に頼る我が国にとって食料安全保障の確立は重要であり、そのためには我が国の農林水産業の持続的発展が不可欠です。

こうした中、昨年末には、令和4年度当初予算案が閣議決定されるとともに、臨時国会において令和3年度第1次補正予算が成立し、農業農村整備事業関連予算として合計6,300億円を確保することができました。

令和4年度当初予算においては、前年度の当初予算を上回る4,468億円を確保し、農地の大区画等の推進、水利施設・ため池等の老朽化対策や流域治水など、防災・減災、国土強靱化対策等を推進することとしています。また、令和3年度補正予算では、TPP対策や防災・減災、国土強靱化対策として1,832億円が計上されており、全国の皆様のご要望にしっかりと応えできる規模となっています。

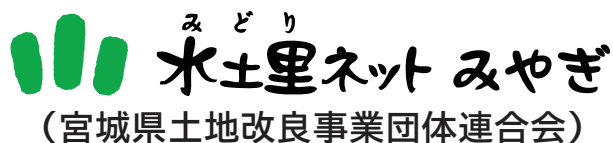
また、これから国会で議論される令和4年度当初予算に関連して、土地改良法の改正を検討することとしており、主な事項としては、ため池等の急激な防災事業に豪雨対策を追加すること、農地中間管理機構関連農地整備事業の対象工種に農業用水路等を追加すること、市町村や土地改良区の機動的な防災対策事業の実施ため、土地改良事業団体連合会による技術的支援等を可能とする、また、組織の維持が困難となった小規模土地改良区について、法人格を維持しながら認可地縁団体等に移行できる手続きを既定するなどが予定されています。予算と制度が車の両輪となって土地改良の効果が確実に発現できるよう、引き続き進藤金日子議員とともに頑張る所存です。

これからも皆様とともに土地改良を推進するため大切なもう一つの車の両輪である進藤金日子議員と一緒に国政で取り組んで行けるよう、宮城県の皆様に格段のご支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様お一人おひとりとご家族にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

# 謹んで新年のご挨拶を申し上げます



会 長 伊藤 康志  
(大崎市長)



副会長 亀谷 久雄  
(あぶくま川水系角田地区土地改良区理事長)



副会長 佐藤 稔  
(仙台東土地改良区理事長)



専務理事 浅野 直明  
(学識経験者)



理 事 渥美 巖  
(学識経験者)



理 事 伊藤 恵子  
(学識経験者)



理 事 樋口 俊彦  
(蔵王町土地改良区理事長)



理 事 浅野 元  
(大和町長)



理 事 菅原 勘一  
(大崎土地改良区理事長)



理 事 金野 勤  
(迫川上流土地改良区理事長)



理 事 千葉 敏彦  
(迫川沿岸土地改良区理事長)



理 事 鈴木 博  
(石巻市北方土地改良区理事長)



理 事 横山 徹  
(鳴瀬土地改良区理事長)



総括監事 阿部 公  
(登米市豊里町土地改良区理事長)



監 事 齋藤 昌徳  
(美里東部土地改良区理事長)



監 事 日下 清一  
(亶理土地改良区理事長)

外職員一同

## 令和3年度 第2回、第3回理事会を開催しました

### 令和3年度 第2回理事会

去る8月11日（水）午後3時から令和3年度第2回理事会を開催し、議案審議では、令和2年度事業報告、一般会計収支決算など上程された第1号議案から第7号議案まで審議され、原案のとおり承認可決されました。

なお、第7号議案「参与の委嘱」の審議については、宮城大学事業構想学群教授の郷古雅春氏に委嘱することとなりました。令和3年度第2回理事会に提出された議案は次のとおりです。

#### 第2回理事会

- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 第1号議案 | 令和2年度事業報告の承認について           |
| 第2号議案 | 令和2年度一般会計収入支出決算の承認について     |
| 第3号議案 | 令和2年度財産目録の承認について           |
| 第4号議案 | 令和3年度一般会計収入支出補正予算の専決処分について |
| 第5号議案 | 支部細則の一部改正について              |
| 第6号議案 | 令和3年度 宮城県土地改良大会の開催について     |
| 第7号議案 | 参与の委嘱について                  |

### 令和3年度 第3回理事会

去る12月15日（水）午後3時30分から令和3年度第3回理事会を開催し、上程された第1号議案から第5号議案まで審議され、原案のとおり承認可決されました。

阿部公総括監事による令和3年度定期監査の監査報告の後、事務局から「令和3年度宮城県土地改良大会」や「令和4年度の農業農村整備の予算確保に向けた要請活動」、「令和3年度各表彰者」「土地改良団体における女性参画推進」などについて報告し、郷古雅春参与から「宮城大学での地域社会の発展に寄与できる人材育成の取組」等について情報提供があり、理事会を終了しました。

令和3年度第3回理事会に提出された議案は次のとおりです。



令和3年度 第3回理事会の様子

#### 第3回理事会

- |       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 第1号議案 | 令和3年度一般会計収入支出補正予算の専決処分について         |
| 第2号議案 | 職員就業規則の一部改正について                    |
| 第3号議案 | 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について |
| 第4号議案 | 事務補助員等取扱規程の一部改正について                |
| 第5号議案 | 職員の表彰について                          |



## 令和3年度 定期監査及び 第3回、第4回、第5回監事会を開催しました

### 令和3年度 第3回監事会

去る8月11日（火）午後2時30分から令和3年度第3回監事会を開催しました。

第3回監事会に提出された議案は次のとおりです。

#### 第3回監事会

第1号議案 令和3年度一般会計収支補正予算の専決処分に係る承認について

### 令和3年度 定期監査及び第4回監事会

去る11月5日（金）午前10時から令和3年度定期監査及び第4回監事会を開催し、定期監査では、令和3年度の受託事業執行状況及び令和3年度上半期の会計経理、財産等の状況を監査し、監査結果を第3回理事会で報告しました。

定期監査の監査項目及び第4回監事会に提出された議案は次のとおりです。

#### 定期監査

- 監査事項
- (1) 令和3年度受託事業執行状況について
  - (2) 令和3年度一般会計予算の上半期分執行状況について

#### 第4回監事会

第1号議案 監査結果の処理方法について

### 令和3年度 第5回監事会

去る12月15日（水）午後3時から令和3年度第5回監事会を開催しました。

第5回監事会に提出された議案は次のとおりです。

#### 第5回監事会

第1号議案 令和3年度一般会計収支補正予算の専決処分に係る承認について



令和3年度 第5回監事会の様子

## 令和3年度 「農業農村整備の集い」が開催されました

去る11月16日（火）、東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、全国から農業農村整備事業関係者約500名が参集し、全国土地改良事業団体連合会主催による「農業農村整備の集い ―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―」が、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、38名の国会議員のご臨席のもと開催され、本県からも伊藤康志会長をはじめ14名が参加しました。

はじめに、主催者である二階俊博全国土地改良事業団体連合会長（自由民主党衆議院議員）より、「令和3年度の予算については、令和2年度の補正予算を含め6,300億円を確保することができた。新型コロナウイルス感染症が未だ大きな脅威の中、農家の方々に期待を持って働けるような環境をつくるため一致団結して闘っていく。また、土地改良での男女共同参画については土地改良団体の活性化のため取り組んで頂くようお願いする。」と挨拶された。

次に、土地改良の男女共同参画に尽力された藤井チエ子元やまぐち水土里ネット女性の会会長（元山口県土地改良事業団体連合会理事：故人）と奥村千扶子日本のひなた女子会会長（大島壠土地改良区理事長）の2名の方に二階会長から感謝状が贈呈された。

続いて、来賓として出席された金子原二郎農林水産大臣、石井啓一公明党幹事長、森山裕自由民主党TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、進藤金日子都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問より挨拶を頂きました。

要請文提案では、古謝景春沖縄県土地改良事業団体連合会長より10項目からなる要請書の提案説明が行われ、全会一致で採択されました。

最後に、代表者3名によるかけ声のもと、ガンバロウ三唱で「農業農村整備の集い」は終了しました。



二階俊博全国土地改良事業団体連合会長の挨拶



農業農村整備の集いの様子

## 農業農村整備事業関係予算の確保並びに吉田川流域における流域治水対策に関する要請活動が実施されました

去る11月17日（水）、本会及び吉田川流域土地改良事業連絡協議会による要請活動が実施されました。

当日は、本会の伊藤康志会長、副会長並びに専務理事、各支部代表理事と吉田川流域土地改良事業連絡協議会会長他関係者が参集し、コロナ禍のため最小限の人員で、関係国会議員及び農林水産省幹部に対し、令和3年度補正予算及び令和4年度農業農村整備事業関係予算並びに吉田川流域における流域治水対策に関して要請活動を行いました。

要請は、宮城県選出国会議員の小野寺五典衆議院議員、伊藤信太郎衆議院議員、西村明宏衆議院議員、土井亨衆議院議員、秋葉賢也衆議院議員及び全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子議員と農業農村整備事業関係予算の確保並びに吉田川流域における流域治水対策について意見交換を行い、各議員からは、『米価が厳しい状況であり、その対策として農業農村整備事業をしっかりと進めて行く必要がある。引続き当初予算での確保に頑張って参りたい。また、流域治水対策における農業・農村の役割は大きく、事業採択に向け支援して参りたい。』とのコメントをいただきました。

農林水産省には、中村裕之副大臣、宮崎雅夫政務官、安部伸治農村振興局次長と面談し、吉田川流域における流域治水対策に関する要望を行いました。

また、意見交換に参加しない関係国会議員に対しましては、衆・参議員会館を廻り、令和3年度補正予算及び令和4年度農業農村整備事業関係予算の確保に関する要請を行いました。



関係国会議員との意見交換会の様子



中村裕之農林水産副大臣（左から2番目）へ要請



## 令和3年度 宮城県土地改良大会を開催しました

去る11月26日（金）、仙台市青葉区の仙台国際センターにおいて、令和3年度宮城県土地改良大会を県選出の国会議員、県内の土地改良関係者380名参集のもと開催しました。

本大会は、東日本大震災から10年が経過した震災復興の完遂や令和元年東日本台風災害の早期復旧に向けた取り組みのほか、豊かなみやぎの食と農の未来を共に創っていく力の強化や新型コロナウイルス感染症を教訓とした農村地域の価値と魅力の再評価、防災重点農業用ため池と田んぼダムなど流域治水への積極的な取り組み、農業農村整備事業の役割や重要性及び今後の進むべき方向を再確認し、必要な予算確保など事業の着実な推進に向け、県内の土地改良関係者一堂の意思統一を図ることを目的としています。



開会挨拶（千葉敏彦東部支部長）



主催者挨拶（伊藤康志会長）

当日はオープニングに農業農村整備事業関連PR動画等を放映し、本会東部支部長である千葉敏彦理事（迫川沿岸土地改良区理事長）の開会挨拶、伊藤康志会長の主催者挨拶と続き、土地改良功労者表彰が行われ、本表彰では、役員の部8名、職員の部9名に伊藤康志会長より表彰状が授与されました。

## 令和3年度 宮城県土地改良大会 表彰者名簿

### 1. 優良団体の部表彰

該当なし

### 2. 土地改良功労者 役員の部表彰（8名）

| 支部名 | 功 勞 概 要 等       | 役 職 名          | 氏 名     |
|-----|-----------------|----------------|---------|
| 仙 台 | 永年勤続功労（21年3ヶ月）  | 金洗堰土地改良区 理事長   | 佐々木 金 彌 |
|     | 永年勤続功労（17年3ヶ月）  | 金洗堰土地改良区 筆頭理事  | 早 坂 豊 弘 |
| 北 部 | 永年勤続功労（21年）     | 加美郡西部土地改良区 監事  | 渡 部 一 雄 |
|     | 永年勤続功労（16年3ヶ月）  | 加美郡西部土地改良区 理事  | 加 藤 賢 治 |
|     | 永年勤続功労（15年10ヶ月） | 涌谷町土地改良区 理事    | 菊 池 久   |
| 東 部 | 永年勤続功労（15年9ヶ月）  | 迫川沿岸土地改良区 副理事長 | 星 信 悟   |
|     | 永年勤続功労（15年9ヶ月）  | 迫川沿岸土地改良区 理事   | 石 崎 琇 一 |
|     | 永年勤続功労（17年8ヶ月）  | 迫川沿岸土地改良区 理事   | 渡 邊 幸 作 |

### 3. 土地改良功労者 職員の部表彰（9名）

| 支部名 | 功 勞 概 要 等       | 役 職 名                              | 氏 名     |
|-----|-----------------|------------------------------------|---------|
| 大河原 | 永年勤続功労（25年）     | あぶくま川水系角田地区土地改良区事業課長               | 加 川 敏 広 |
|     | 永年勤続功労（25年）     | あぶくま川水系角田地区土地改良区<br>総務課課長補佐兼会計主任   | 山 家 純 子 |
|     | 永年勤続功労（25年）     | あぶくま川水系角田地区土地改良区<br>賦課徴収課課長補佐兼換地係長 | 佐 藤 進   |
| 仙 台 | 永年勤続功労（26年9 ヶ月） | 仙台東土地改良区 事業課長                      | 鹿 又 康 宏 |
| 東 部 | 永年勤続功労（26年）     | 河南矢本土土地改良区 工務課主任主査                 | 菅 原 洋 平 |
|     | 永年勤続功労（25年）     | 北上川沿岸中田地区土地改良区事業課<br>課長補佐兼事業係長     | 千 葉 光   |
|     | 永年勤続功労（25年6 ヶ月） | 北上川沿岸中田地区土地改良区事業課<br>管理係長          | 尾 形 桂 士 |
|     | 永年勤続功労（25年）     | 北上川沿岸中田地区土地改良区事業課計画係長              | 飯 塚 貴 洋 |
|     | 永年勤続功労（25年6 ヶ月） | 北上川沿岸中田地区土地改良区総務課庶務係長              | 野 家 一 行 |

続いて、来賓としてご臨席いただいた坂本修東北農政局長より祝辞を頂戴し、公務の都合上、ご臨席いただけなかった村井嘉浩宮城県知事から動画による祝辞を放映しました。

動画による祝辞を頂戴したあと、ご臨席いただいた菊地恵一宮城県議会議員、伊藤信太郎衆議院議員、岡本章子衆議院議員、鎌田さゆり衆議院議員、早坂敦衆議院議員、櫻井充参議院議員から祝辞を頂戴しました。

その後、休憩を挟んで基調講演及び事例報告があり、亀谷久雄副会長（あぶくま川水系角田地区土地改良区理事長）による大会宣言の朗読、高橋利一郎東部支部副支部長（北上川沿岸土地改良区理事長）の発声によるガンバロウ三唱が行われ、佐藤稔副会長（仙台東土地改良区理事長）の閉会挨拶により大会の一切は盛会のうちに終了となりました。



動画による祝辞（村井嘉浩宮城県知事）



ガンバロウ三唱  
（高橋利一郎東部支部副支部長）

基調講演の演題及び講師、事例報告の演題及び報告者、大会宣言は以下のとおりです。

### 【基調講演】

『最近の農政をめぐる情勢と今後の展開方向』

全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子 氏

### 【事例報告】

1. 『東日本大震災からの復旧・復興について』

河南矢本土地改良区 総務課長兼事業課長 高橋善宏 氏

2. 『田んぼダムの普及拡大に向けて』

宮城県農政部農村振興課 技術副参事兼総括技術補佐 佐藤文彦 氏

## 大会宣言

東日本大震災から10年8ヶ月が過ぎ、被災した農地は全域で営農再開できる状況まで復旧した。復旧復興事業を契機として、ほ場の大区画化や担い手への農地集積が促進され、大規模な農業法人を中心とした生産性の高い農業経営が進んできている。今後は震災から立ち上がり、活力に満ちた強くてしなやかな農業・農村のモデルを提示することは我々の責務でもあり、引き続き着実な推進が求められている。

また、令和元年10月に東北地方に甚大な被害をもたらした「令和元年東日本台風」による農地や農業用施設の復旧を早期に行い営農再開に向けて取り組む必要がある。

今年度は、豊かなみやぎの食と農の未来を共に創っていく力を強化することを掲げた「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」の初年度となる重要な年である。また、新型コロナウイルス感染症の影響を教訓とし、農村地域の価値が改めて高く評価されている。さらに、防災重点農業用ため池の耐震化や田んぼダムなど流域治水の推進に伴う農村地域の国土強靱化が重要な課題となっており、関係機関の連携を図りながら積極的な推進が求められている。

いま、我が県の農業・農村は、過疎化、高齢化、担い手不足に加え、米価の下落や地域活力の低下などの課題山積であり、コメを巡る情勢は一段と厳しくなっており、営農の継続に対する重大な影響をもたらしている。

さらに、近年気候変動による豪雨災害が全国各地で頻発している中、災害防止対策に大きく寄与している農地や農業水利施設は、国土強靱化の面からもその重要性は増しているにも関わらず劣化・老朽化は進み、計画的な修繕・更新もままならず、農家は大きな不安を抱えながらの施設の保全管理を強いられている。

このような中であっても、我々には安心・安全な農産物の安定供給や、先人たちが心血を注いで造りあげてきた貴重な資産を適切に管理し、次世代に引き継いでいく責務があり、この責務を確実に遂行するために必要な予算の確保は我々の最重要課題である。

土地改良関係予算は令和2年度補正と令和3年度当初を合わせれば大幅削減前の水準に回復したものの、現場のニーズに適切に対応し計画的・安定的な事業推進のためには、年度当初予算の所要額の確保が必要不可欠である。このため、沿岸部と内陸部の均衡ある県土の発展に向けて、農業農村整備事業予算の十分な確保を図るべく、我々は決して緩むことなく一致団結して闘い続けなければならない。

以上、本大会の総意に基づきここに宣言する。

令和3年11月26日

令和3年度 宮城県土地改良大会



## 第43回全国土地改良大会群馬大会が開催されました



開会挨拶（熊川栄水土里ネット群馬会長）



主催者挨拶（二階俊博全国水土里ネット会長）

去る10月6日（水）「鶴舞う形 群馬の大地 水土里の未来へ ここから羽ばたいて」をテーマに、「第43回全国土地改良大会群馬大会」が群馬県高崎市「Gメッセ群馬」を会場に、全国水土里ネット・水土里ネット群馬主催、農林水産省・群馬県・群馬県議会・高崎市・群馬県市長会・群馬県町村会等の後援のもと開催されました。今大会は、新型コロナウイルス感染症を踏まえ、無観客（オンライン）でリアルタイムでのYouTube配信となり、新たな開催方式となりました。

大会式典では、開催地である水土里ネット群馬の熊川栄会長の挨拶で始まり、主催者を代表して二階俊博全国水土里ネット会長が挨拶を述べ、山本一太群馬県知事、富岡賢治高崎市長より歓迎の言葉をいただきました。さらに来賓の金子原二郎農林水産大臣（代読・農林水産省農村振興局・安部伸治次長）、小淵優子衆議院議員、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問・宮崎雅夫参議院議員より祝辞をいただきました。

その後、土地改良事業功績者表彰が行われ、本県からは大崎土地改良区・菅原勘一理事長が農林水産省農村振興局長表彰、迫川沿岸土地改良区・千葉敏彦理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞されました。

### 農林水産省農村振興局長表彰



すがわら かんいち  
**菅原 勘一**

大崎土地改良区 理事長  
宮城県土地改良事業団体連合会 理事

### 全国土地改良事業団体連合会長表彰



ちば としひこ  
**千葉 敏彦**

迫川沿岸土地改良区 理事長  
宮城県土地改良事業団体連合会 理事

続いて、農林水産省農村振興局・安部伸治次長より「未来（あす）の土地改良」と題して基調講演が行われ、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問・進藤金日子参議院議員から講演をいただきました。

最後に、第44回全国土地改良大会 次期開催県の水土里ネット沖縄・知念武専務理事に大会旗の引継ぎが行われ、水土里ネット群馬・山本龍副会長の閉会挨拶により、大会式典の一切が終了しました。

## 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」が 東北・北海道地区緑化推進協議会より表彰されました



表彰状及び記念品の授与

去る11月11日(木)、本会並びに会員土地改良区、会員市町、関係機関と協力して、平成28年度から実施している海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」が、長年にわたり緑化運動の推進に尽力されたとして、東北・北海道地区緑化推進協議会より表彰されました。公益社団法人宮城県緑化推進委員会の田畑正紀常務理事から表彰状及び記念品が浅野直明専務理事に授与されました。

本表彰は会員土地改良区、会員市町、関係機関のご指導・ご協力の賜物であり、この誌面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

また、今後とも海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」へのご指導・ご協力を併せてお願い申し上げます。

## 令和3年度 土地改良区職員研修会を開催しました

去る10月20日(水)、本会館5階大会議室において、県内41土地改良区の職員の参加のもと、令和3年度土地改良区職員研修会を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場にて直接参加する方法のほかにウェブ会議システムを活用してウェブ形式で参加いただいた土地改良区もありました。

今回の研修会では、令和4年度からの貸借対照表の公表に向け、「新会計基準に基づく今後のスケジュール等について」と題して、宮城県農政部農村振興課指導班の白鳥主事より今後のスケジュールの確認や進め方等について、また、「新会計基準に基づく関係書類の作成と注意点」と題して、宮城県大河原地方振興事務所農業農村整備部管理指導班の佐藤次長より具体的な関係書類の作成について講義頂きました。

また、本会会員支援班高橋副班長より土地改良区独特の複式の仕訳について、多面的機能支払活動組織と土地改良区の連携について等の説明を行いました。



研修会の様子

# 令和3年度 海岸防災林再生支援植樹活動 「水土里ネットの森」 保育作業を実施しました

## 東松島市大曲浜地区

去る10月27日（水）、東松島市大曲浜地区において、今年度2回目となる海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業（除草作業及び林内清掃）を東部支部土地改良区役職員並びに本会職員総勢30名参加のもと実施しました。

本地区は雑草が繁茂・大型化しやすく、また、クロマツの植栽間隔も近いため、クロマツ周辺の除草作業が非常に困難になっています。そのため、草刈り機で人の胸の高さまで成長した雑草を全体的に刈り払った後、クロマツ周辺に残った雑草や木柵等に絡みついたツタ類を鎌による作業で丁寧に除草しました。

開始から2時間程で除草作業は終了し、作業終了後にクロマツの生育状況を確認した結果、植樹当初30cmだったクロマツが240cmまで伸びており、順調な生育を確認しました。



除草作業後の林内



保育作業参加者全員による集合写真



240cmまで生育したクロマツ

|                          |           |                       |
|--------------------------|-----------|-----------------------|
| 東松島市大曲浜地区の<br>「水土里ネットの森」 | 植 樹 実 施 日 | 平成29年 7 月             |
|                          | 植 樹 場 所   | 宮城県東松島市大曲浜地区（21林班の一部） |
|                          | 施 工 面 積   | 0.26ヘクタール             |
|                          | 植 樹 本 数   | 1,300本（宮城県産抵抗性クロマツ）   |

## 亶理郡亶理町吉田字砂浜地区

去る10月29日（金）、亶理郡亶理町吉田字砂浜地区において、海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業（除草作業及び林内清掃）を仙台支部・大河原支部管内の土地改良区役職員並びに本会職員総勢40名参加のもと実施しました。東松島地区と同様の除草作業を行い、昼食を挟みつつ5時間程度で除草作業を終了しました。

除草作業終了後にクロマツの生育状況を確認した結果、植樹当初30cmだったクロマツが335cmまで伸びており、順調な生育を確認しました。



除草作業後の林内



保育作業参加者全員による集合写真



335cmまで生育したクロマツ

|                                  |           |                           |
|----------------------------------|-----------|---------------------------|
| 亶理郡亶理町吉田字砂<br>浜地区の「水土里ネッ<br>トの森」 | 植 樹 実 施 日 | 平成28年 6 月                 |
|                                  | 植 樹 場 所   | 宮城県亶理郡亶理町吉田字砂浜地区（31林班の一部） |
|                                  | 施 工 面 積   | 0.47ヘクタール                 |
|                                  | 植 樹 本 数   | 2,500本（宮城県産抵抗性クロマツ）       |



## 令和3年度 インターンシップ事業を実施しました

本会では、高校生、大学生が在学中に研修的な就業体験を行うことで職業観の確立や勉学への動機付けの一層の充実を図るとともに、その成果を就職後に能力発揮することで、実社会への適応能力の高い、実践的な人材の育成に繋げることを目的としたインターンシップ（現場実習教育）を実施しました。

※令和3年度については、高校生のみの実施となりました。

◆高校からの受入（応募＝小牛田農林高等学校から3名）

実施期間：令和3年10月12日（火）～10月14日（木）の3日間

| 実 施 日     | 実施プログラム                                     |
|-----------|---------------------------------------------|
| 10月12日（火） | オリエンテーション、水土里ネットみやぎの概要、農業農村整備事業の概要、農業水利施設見学 |
| 10月13日（水） | 排水路測量実習、測量成果図面作成                            |
| 10月14日（木） | 排水路計画、現場実習総括、マナー講習                          |



横断測量の実習



トータルステーションの操作指導



農業水利施設の見学



CADによる排水路計画図作成

# 土地改良区めぐり

## 富谷北部土地改良区

シリーズ

37

### 土地改良区の概要

本地域は、宮城県の中央部に位置し、南北に走る国道4号線を挟み東西に一級河川吉田川、宮床川、竹林川沿いに展開する富谷市と黒川郡大和町に跨る東西約7kmの細長い水田面積約438haの富谷北部地域と一級河川明石川、西川に展開する水田面積48haの富谷南部地域の比較的平坦な水田地帯です。

地区の耕地は、未整理地と一部耕地整理（10a）された耕地も用排兼用水路の上、農道は狭く大型機械は導入出来ない状況により、農業経営の安定と近代的な営農を目指すため、昭和54年に当土地改良区が設立されました。県営ほ場整備事業富谷北部地区、団体営小規模土地改良事業大童地区、団体営土地改良総合整備事業向原地区、県営ほ場整備事業富谷南部地区の4地区の事業を実施し、農業生産性向上と合理化を図ってきました。

近年は、農業施設の老朽化が進んでおりますので、今後は施設更新等の事業実施が必要と考えております。



竹林川遊水地



21世紀土地改良区創造運動

### 富谷北部土地改良区の概要

所在地：富谷市太子堂一丁目17-22

団体表彰：

|       |               |      |
|-------|---------------|------|
| 平成2年  | 全国土地改良事業団体連合会 | 銅賞受賞 |
| 平成22年 | 全国土地改良事業団体連合会 | 銀賞受賞 |
| 平成26年 | 全国土地改良事業団体連合会 | 金賞受賞 |

受益面積：486ha

組合員：461名 理事：9名 監事：2名

職員：3名



位置図

## ～令和3年 秋の叙勲～

去る11月3日付で、内閣府から令和3年秋の叙勲受章者が発表され、本会関係者では、佐々木正幸氏（元白石市土地改良区理事長）が土地改良事業功勞として旭日単光章を受章されました。

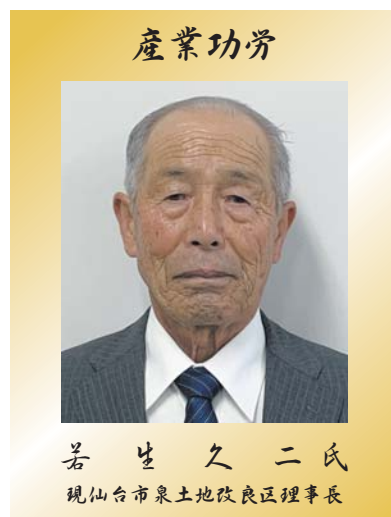
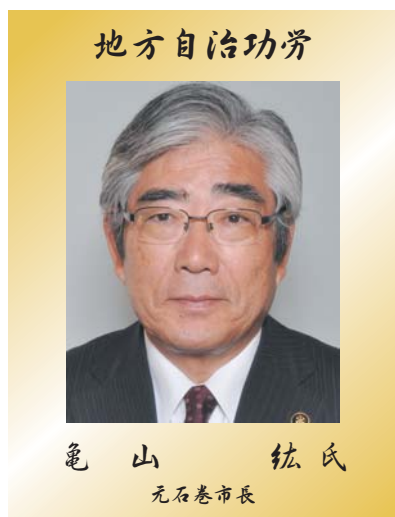
このたびの受章を心からお慶び申し上げ、益々のご活躍を祈念申し上げます。



## ～令和3年 文化の日表彰～

宮城県は令和3年文化の日表彰受賞者を発表し、本会関係者では地方自治功勞として亀山紘氏（元石巻市長）、産業功勞として若生久二氏（現仙台市泉土地改良区理事長）、長浦信氏（元小山田川沿岸土地改良区理事長）がそれぞれ受賞されました。

このたびの受賞を心からお慶び申し上げ、益々のご活躍を祈念申し上げます。





ため池を管理されている方へ

**宮城県**

**ため池サポートセンター**

専門のスタッフが  
ため池の管理・保全に関する  
相談を承ります

令和3年

**2月18日開設**

## ため池管理者の方の相談窓口

- 受付日時 **火・木**曜日 9:00~12:00/ 13:00~16:00  
※祝日, 休日, 年末年始(12月29日~翌年1月3日)は除く
- 相談方法 電話または来所(来所の場合, 要予約)
- 連絡先 022-263-5814(総務部会員支援班内)  
※管理者以外の方は, お住いの市町村へご相談願います

## 業務内容(相談以外)

- 専門技術者による助言  
防災重点農業用ため池の適切な管理等のための助言を行います。
- 研修会の開催  
ため池管理者の技術力向上に向けた研修会を開催します。



## 宮城県ため池サポートセンター

〒980-0011 仙台市青葉区上杉2丁目2番8号

TEL:022-263-5814 FAX:022-268-6390

設置者:宮城県

運営主体:宮城県土地改良事業団体連合会

## BV シリーズ Ver. 14 リリースしました。

64bit ネイティブ対応で快適な操作を実現。3D 描画機能も搭載

## Bigvan al-Nil 2020 発売中！

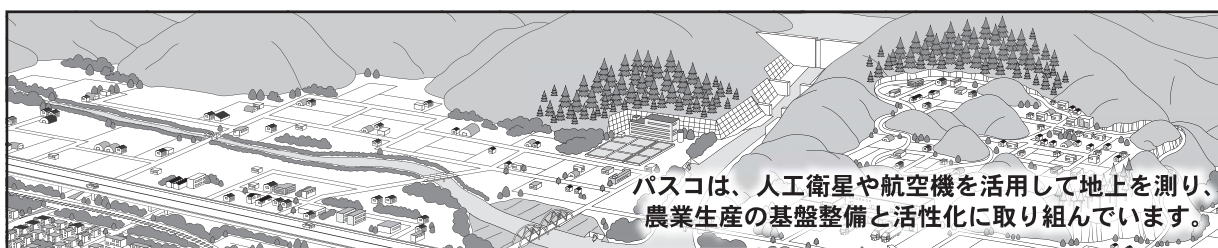
農林土木設計に便利な拡張土木機能

詳細は、当社ホームページへ <http://www.bigvan.co.jp/>

株式会社 ビッグバン 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-12 NKビル9F tel 03-3851-2227 fax 03-3851-2228

### 拡張土木オプション

- ・縦横断面図作成機能が新たに追加。
- ・GPS写真配置
- ・SIMAデータ
- ・SIMA-DM
- ・座標一覧
- ・クロソイド
- ・法面記号
- ・土量計算
- ・面積計算
- ・土木ハッチング
- ・路面標識
- ・赤書き
- ・簡易断面
- ・トラバース/逆トラバース
- ・面積集計機能



パスコは、人工衛星や航空機を活用して地上を測り、  
農業生産の基盤整備と活性化に取り組んでいます。

株式会社パスコ 仙台支店

〒983-0864 宮城県仙台市宮城野区名掛丁 205-1

[www.pasco.co.jp](http://www.pasco.co.jp)

## 株式会社同和建材

〒989-6124

宮城県大崎市古川石森字天王山2-1

電話 0229-24-2755

メール dowa-2755@athena.ocn.ne.jp

- ☆ 農業土木資材販売
- ☆ 各種2次製品販売

実り豊かな農業をめざし  
明日へ繋ぐ農地整備



お陰様で弊社は創業74周年を迎えました。

今後とも地域の発展に寄与し、お客様に御満足頂きますよう、設計・施工・メンテナンスまで一貫した体制で、より一層の努力を重ねてまいります。



水処理総合エンジニアリング

萱場工業株式会社

本社：宮城県仙台市青葉区葉山町1番26号  
TEL：022-272-8686  
ホームページ：http://www.kayaba-ind.co.jp  
支店営業所：福島、郡山、青森、秋田、盛岡、石巻、大崎

## ◆◆本会会員代表者の就退任関係◆◆

## 【東部支部管内】

◇階上大谷土地改良区

小 野 武 久 → 鈴 木 敏 榮 就任【R3.10.22】

## 連 合 会 日 誌



| 開催日時 |         | 主催者名                             | 行事名                                           | 開催場所                  |
|------|---------|----------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------|
| 8月   | 5日      | 宮城県農政部                           | 令和3年度 みやぎ農業農村整備地域懇談会（気仙沼地域）<br>（オンラインによる開催）   | 本会館                   |
|      | 11日     | 本会                               | 令和3年度 第2回理事会                                  | 本会館                   |
| 9月   | 3日      | 本会                               | みやぎ水土里ネット女性の会 令和3年度 第2回幹事会                    | 本会館                   |
|      | 8日      | 全国土地改良事業団体連合会                    | 令和3年度 都道府県水土里ネット等事務責任者会議<br>（オンラインによる開催）      | 本会館                   |
| 10月  | 6日      | 全国土地改良事業団体連合会、<br>群馬県土地改良事業団体連合会 | 第43回 全国土地改良大会群馬大会（オンラインによる開催）                 | Gメッセ群馬<br>（群馬県）       |
|      | 12日～14日 | 本会                               | 令和3年度 インターンシップ事業（農業土木関連現場における現場実習）            | 古川事業所                 |
|      | 17日     | 水土保全強化対策センター                     | 令和3年度 土地改良換地士部会通常総会・研究会                       | 古川事業所                 |
|      | 19日     | 東北・北海道土地改良事業団体連合<br>会連絡協議会       | 令和3年度 東北・北海道ブロック事務主任者会議<br>（オンラインによる開催）       | 本会館                   |
|      | 20日     | 本会                               | 令和3年度 土地改良区職員研修会                              | 本会館                   |
|      | 21日     | 全国土地改良事業団体連合会                    | 令和3年度 都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議<br>（オンラインによる開催）  | 東北農政局                 |
|      | 27日     | 本会東部支部                           | 令和3年度 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育活動             | 東松島市                  |
|      | 29日     | 本会仙台支部                           | 令和3年度 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育活動             | 亘理町                   |
| 11月  | 5日      | 本会                               | 令和3年度 定期監査・第4回監事会                             | 本会館                   |
|      | 10日     | 東北・北海道土地改良事業団体連合<br>会連絡協議会       | 令和3年度 東北・北海道ブロック管理主任者会議                       | グランド平成（大<br>崎市）       |
|      | 11日     | 本会大河原支部                          | 令和3年度 水土里ネットみやぎ大河原支部会員代表者並びに職員合同研修<br>会       | 農研機構農村工学研究<br>部門（茨城県） |
|      | 16日     | 全国土地改良事業団体連合会                    | 令和3年度 「農業農村整備の集い」                             | シェーンバッハ・<br>サボー（東京都）  |
|      | 17日     | 本会                               | 農業農村整備事業関係予算の確保並びに吉田川流域における流域治水対策<br>に関する要請活動 | 農林水産省<br>（東京都）        |
|      | 19日     | 本会仙台支部                           | 令和3年度 水土里ネットみやぎ仙台支部女子職員研修会                    | 米沢平野土地改良<br>区（山形県）    |
|      | 26日     | 本会、本会東部支部                        | 令和3年度 宮城県土地改良大会                               | 仙台国際センター<br>（仙台市）     |
|      | 29日     | 本会大河原支部                          | 令和3年度 水土里ネットみやぎ大河原支部女子職員研修会                   | 請戸川土地改良区<br>（福島県）     |



| 開催日時 |       | 主催者名                   |  | 行事名   |                      | 開催場所          |  |
|------|-------|------------------------|--|-------|----------------------|---------------|--|
| 12月  | 2日～3日 | 東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会 |  | 令和3年度 | 第1回事務責任者会議           | 秋田県           |  |
|      | 7日～8日 | 本会                     |  | 令和3年度 | 換地計画実務研修会            | 本会館           |  |
|      | 8日    | 本会北部支部                 |  | 令和3年度 | 水土里ネットみやぎ北部支部女子職員研修会 | アインパルラ浦島(大崎市) |  |
|      | 15日   | 本会                     |  | 令和3年度 | 第3回理事会、第5回監事会        | 大崎市           |  |
|      | 28日   | 本会                     |  | 仕事納め式 |                      | 本会館           |  |

## 今後の行事予定



|    |    |                        |                              |     |
|----|----|------------------------|------------------------------|-----|
| 1月 | 4日 | 本会                     | 仕事始め式                        | 本会館 |
|    | 中旬 | 東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会 | 令和3年度 会計指導員会議（オンラインによる開催）    | 本会館 |
|    | 中旬 | 宮城県ため池サポートセンター         | 宮城県農業用ため池管理技術研修会             | 本会館 |
|    | 中旬 | 東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会 | 令和3年度 第1回技術主任者会議             | 調整中 |
|    | 中旬 | 全国土地改良事業団体連合会          | 令和3年度 都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議 | 調整中 |
| 2月 | 下旬 | 本会                     | 令和3年度 土地改良区役員研修会（北部・東部管内）    | 大崎市 |
|    | 上旬 | 本会                     | 令和3年度 土地改良区役員研修会（大河原・仙台管内）   | 仙台市 |
|    | 中旬 | 本会                     | 第9回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト審査会    | 本会館 |
|    | 中旬 | 本会                     | 令和3年度 第4回理事会、第6回監事会          | 調整中 |
|    | 中旬 | 東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会 | 令和3年度 第2回事務責任者会議             | 調整中 |
| 3月 | 中旬 | 全国土地改良事業団体連合会          | 令和3年度 都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議 | 調整中 |
|    | 中旬 | 本会                     | 令和3年度 第5回理事会、第7回監事会          | 調整中 |
|    | 中旬 | 本会                     | 第63回通常総会                     | 本会館 |
|    | 下旬 | 全国土地改良事業団体連合会          | 第64回全国土地改良事業団体連合会通常総会        | 東京都 |
|    | 下旬 | 全国土地改良事業団体連合会          | 第63回全国水土里ネット表彰式              | 東京都 |
| 3月 | 下旬 | 本会                     | 令和3年度 仕事納め式・退職者辞令交付式         | 本会館 |

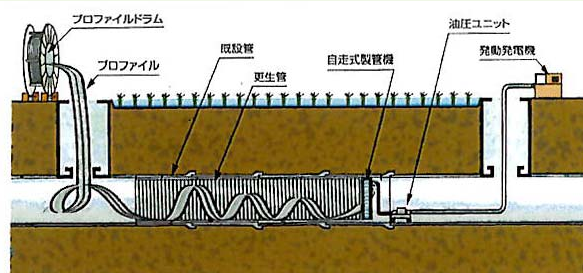
# 農業用パイプライン更生

非開削工法 **SPR-A工法**

老朽パイプラインを更生  
いろんな形状、口径、  
勾配に対応



SPR 更生後



## SPR-A工法の特長

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| 1 全周で同一部材厚の更生管断面で内水圧に対応 | 2 長距離施工、作業抗開削が不要 |
| 3 真円形状の更生管断面で内水圧に対応     | 4 部材厚増加で耐荷力増強    |
| 5 長期強度                  | 6 耐摩耗性           |
| 7 非開削施工                 |                  |



日本SPR工法協会

日本SPR工法協会 東北支部

〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字車 39-3

TEL・FAX 022-392-5981

日本SPR工法協会

TEL 03-5209-0130(代)

ホームページ <http://www.spr.gr.jp/>



ウェブサイトは  
こちら！

<http://www.mlw.or.jp>

過去の広報誌もご覧いただけます

- 発行 2022年1月1日
- 発行所 水士里ネットみやぎ（宮城県土地改良事業団体連合会）  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号  
Tel 022-263-5811（代表）／Fax 022-268-6390
- 印刷 株式会社 イシカワ印刷  
〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代一丁目24-9  
Tel 022-238-0999／Fax 022-235-9035